

## 事業計画変更に係る意見・質問等

番号	事業名	掲載ページ	意見質問等	委員	事務局コメント
1	利用者支援事業[母子保健型]	資料54の5ページ 資料59の11・12ページ	利用者支援事業の【母子保健型】は、現在もいる保育コンシェルジュの方が兼任されるのか？別の方なのか？	岩野	<p>[事業概要]</p> <p>妊婦の健康の保持・増進のほか、出産・子育てに対する不安の軽減を図ることで、安心して出産を迎えられるように、全ての妊婦に対し面接を行う機会を設け、必要に応じて情報提供や相談を含めた支援を行う事業。</p> <p>妊娠届提出時に配布している母子バック等で面接を周知し、予約制にて保健センター等で面接を実施する。また、来所して面接することが困難な妊婦には、電話や訪問による相談支援を行う。</p> <p>妊娠期から、保健師等の専門職が関わることにより、妊婦の健康の保持・増進や育児に関する不安の軽減を図るとともに、母子保健サービスの選定や各種情報提供を行う。また、必要に応じて支援プランを作成し、関係機関と協力して定期的な支援を行うことで、全ての妊婦が安心して妊娠期を過ごすことができるよう支援する。</p> <p>なお、事業実施に際しては、健康課の保健師等の専門職が行う予定である。</p>
			新規掲載事業なので、丁寧に説明いただいた後、質問させていただく。	新保	
2	延長保育事業(時間外保育)	資料54の6ページ 資料59の13ページ	延長保育事業(時間外保育)について、検討材料に一時的な(単発的な)延長保育事業は表記しないのか？	岩野	公立では単発的な延長保育の制度はないが、民間園では多くのところで既に実施されているので、計画上表記する予定はない。
			小規模保育事業の延長保育の実施予定は。	沢村	既に各園で実施中である。(家庭的保育室は短時間認定の場合のみ)
3	放課後児童健全育成事業(学童保育)	資料54の7ページ 資料59の14ページ	低学年の量の見込みは右肩上がりで上がる一方、確保の内容は頭打ちとなっている。このような中、 ①大規模化をしている中でどのような懸念があるか。 ②どのような対策を今後考えているか。	原島	<p>①市では、入所希望者全員入所(全入制)の方針を維持しており平成28年度においても、定員810人に対し922人の登録児童が入所している状況となっている。今後も弾力的に対応し、全入制の維持を図って行きたいところだが、育成室の面積も限られており、児童数の増が続くと、安全性の観点からの懸念もあるところである。</p> <p>②現時点で具体的な対策はお示しできないが、教育委員会などの関係機関と協議をしたり、また利用者の代表である運営協議会の中でも意見交換を行いながら、様々な視点から確保量を拡充する手法を検討し、ニーズに対応していきたいと考える。</p>
4	放課後子ども総合プラン事業	資料54の7ページ 資料59の15ページ	新規掲載事業なので、丁寧に説明いただいた後、質問させていただく。	新保	資料61「放課後子ども総合プラン事業について」のとおり。

番号	事業名	掲載ページ	意見質問等	委員	事務局コメント
5	病児保育事業、子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業)	資料54の12ページ 資料59の22ページ	病児保育、子育て援助活動支援事業について、平成30年度、平成31年度と確保の内容が増えている。どのような計画があるのか教えていただきたい。	岩野	資料54の12ページ記載のとおりで、 ・平成30年度実施予定の病後児保育:定員3名(1日)×235日(開所日数)=705人日/年 ・平成31年度実施予定の病後児保育:定員5名(1日)×235日(開所日数)=1,175人日/年
6	(計画期間の年齢別児童数の推計)	資料59の5ページ	2行目「コーホート変化率法にて推計しました(平成28年〇月時点)。」というように、いつ時点で再推計したのかを追加した方が良かったと思った。	岩野	ご指摘を踏まえ、記載内容を修正する。 (修正前) 「平成24年から平成28年の1歳年齢ごと男女別人口を基に、コーホート変化率法にて推計しました。」 (修正後) 「平成24年から平成28年の1歳年齢ごと男女別人口を基に、平成28年10月1日現在の人口実績も踏まえ、コーホート変化率法にて推計しました。」
7	(4 教育・保育施設の質の向上)	資料59の10ページ	6行目に「他の地域の保育所」という表記があるが、これは具体的にどういう保育所のことか？	岩野	小金井市民で他市の認可保育園等に通園している児童もいるため、「他の地域」とは小金井市以外の自治体のことを指す。